

平成12年度船員保険収支決算の概要

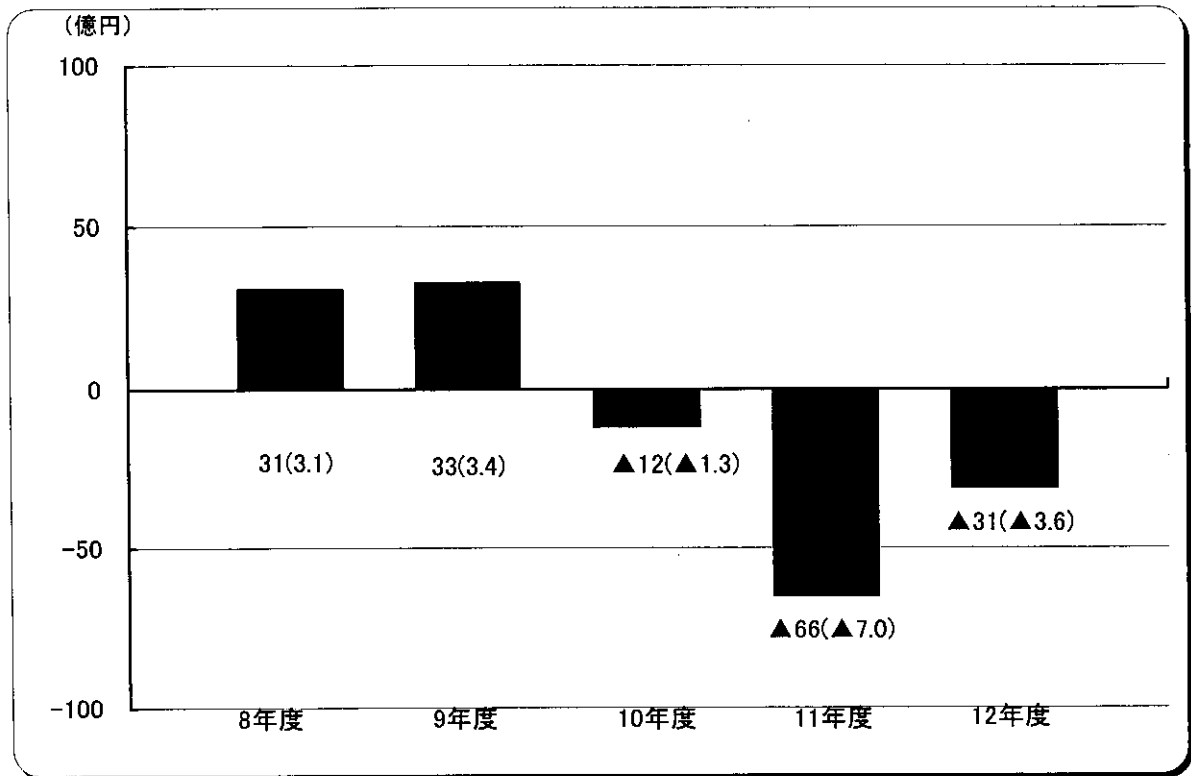
介護保険制度が導入されて初めての平成12年度船員保険収支決算は、全体で31億円の赤字。平成10年度以降3年連続の赤字決算。

- 1 平成12年度船員保険収支決算は、
 - (1) 歳入844億円に対し、歳出875億円となり、単年度で31億円の赤字となった。
 - (2) その内訳は、疾病部門において3億円の赤字、失業部門において3億円の黒字、年金部門において35億円の赤字等となった。

- 2 平成12年度における収支を平成11年度と比較すると、赤字額が35億円の改善となった。
 - (1) 歳入については、全体で32億円の減少となった。これは、
 - ① 被保険者数が昭和47年度以降実質29年連続のマイナスとなったことや、平均標準報酬月額が平成10年度以降実質3年連続のマイナスとなったことにより、保険料収入が対前年度比で5.9%減となったこと
 - ② 低金利により、利子収入が対前年度比で19.9%減となったこと等によるものである。
 - (2) 歳出については、全体で67億円の減少となった。これは、
 - ① 介護保険制度の施行に伴う老人医療から介護保険への移行等により、老人医療費、加入者数等の見込みを基に賦課される老人保健拠出金が対前年度比で17.2%減となったこと
 - ② 失業率の低下等により、保険給付費が対前年度比で8.8%減となったこと等によるものである。

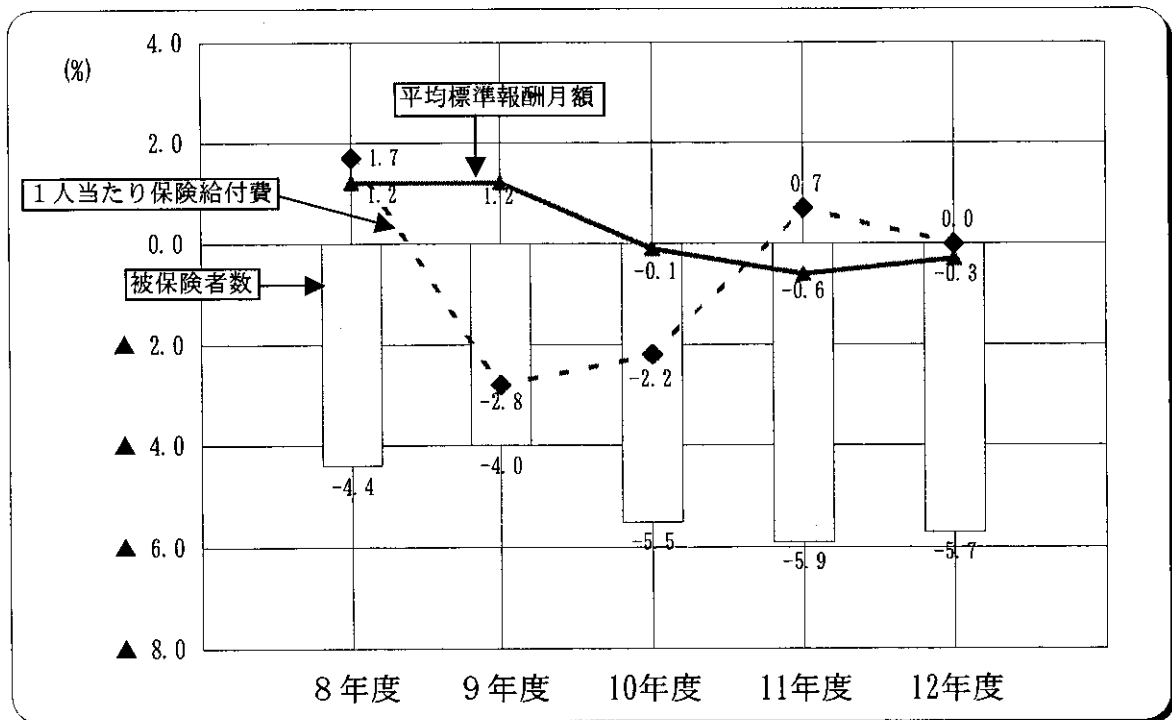
- 3 なお、平成12年度の積立金の残高は、全体で1,118億円となり、対前年度比で31億円の減少となった。

【収支差の推移】

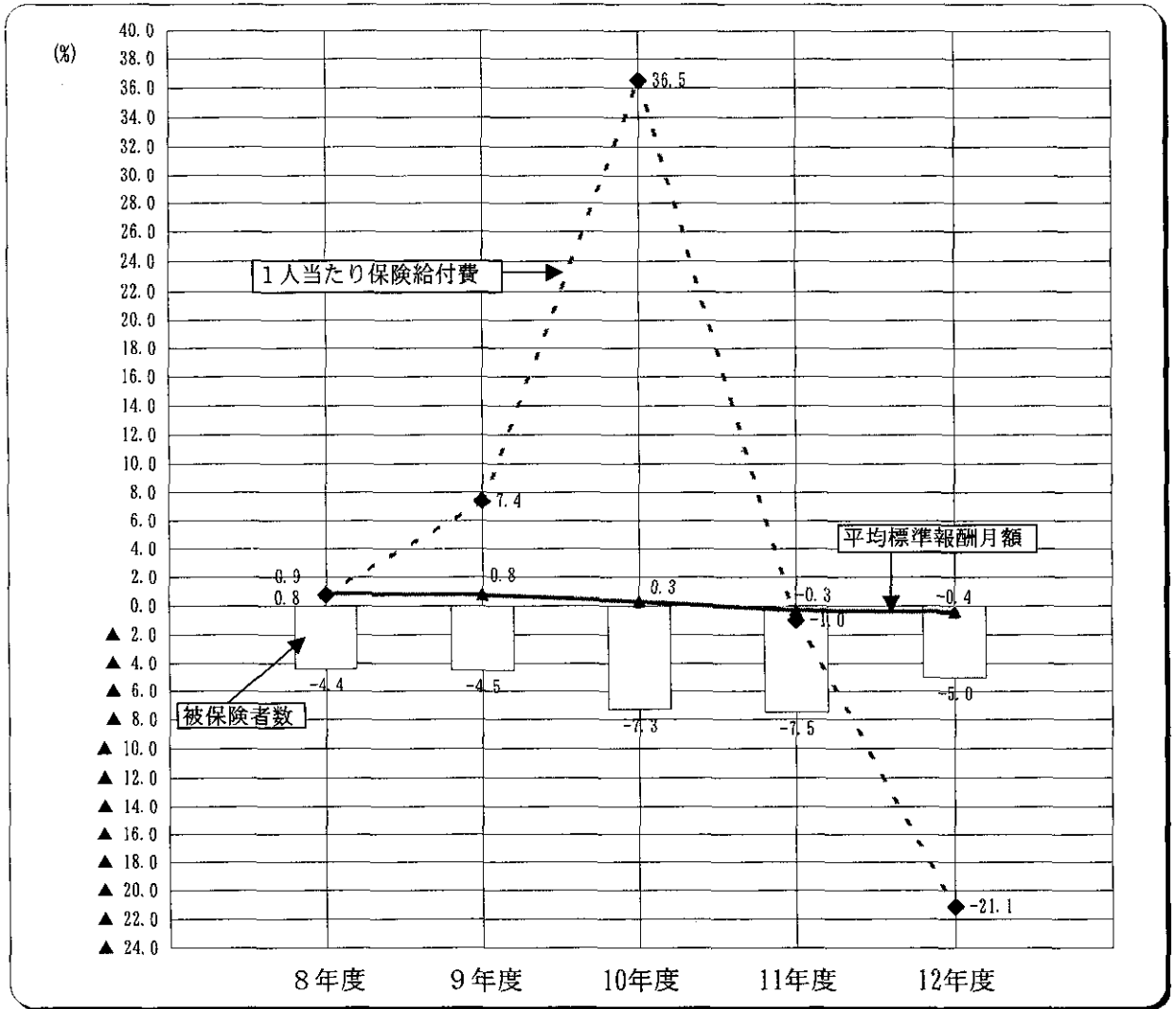


(注) () 内は歳出に対する収支差の割合 (%) である。

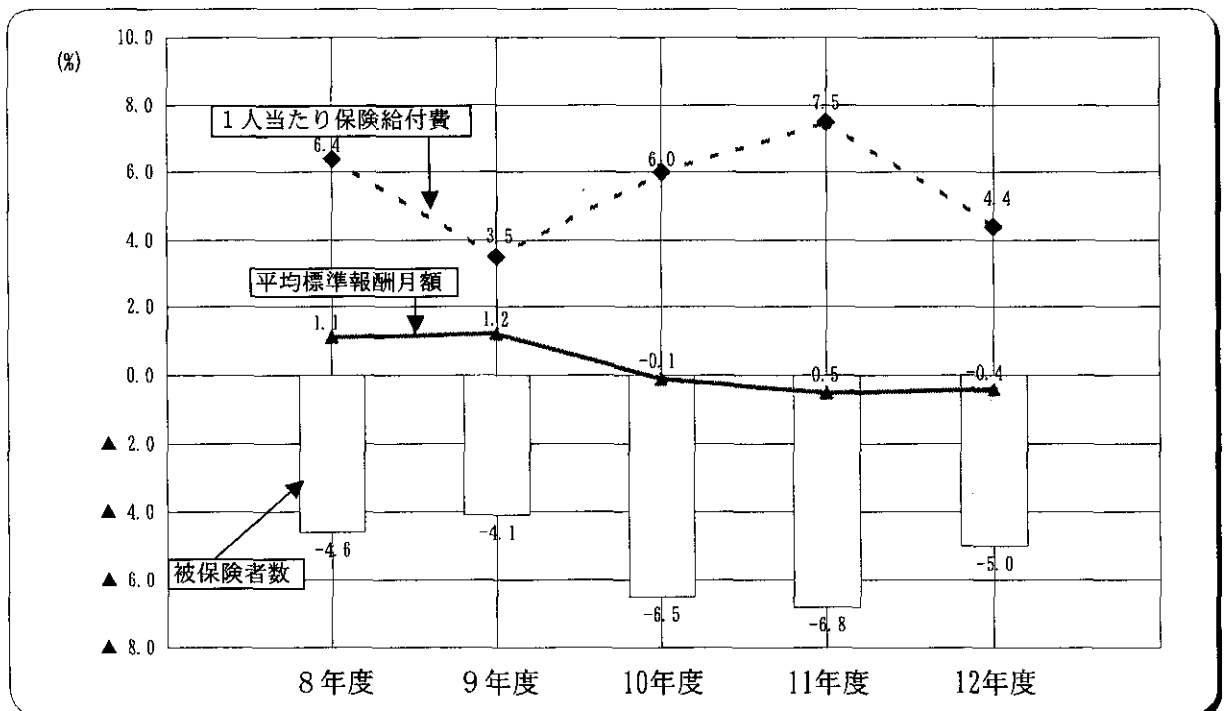
【疾病部門における被保険者数等の対前年度伸び率の推移】



【失業部門における被保険者数等の対前年度伸び率の推移】



【年金部門における被保険者数等の対前年度伸び率の推移】



平成 1 2 年度船員保険特別会計収支決算

(単位：億円)

	区 分	平成11年度決算 A	平成12年度決算 B	差 引 (B-A)	伸 率 (%)
収 入	保 険 料 収 入	7 6 3	7 1 9	▲ 4 4	▲ 5.9
	一般会計より受入	6 3	5 7	▲ 6	▲ 9.1
	利 子 収 入	3 9	3 1	▲ 8	▲19.9
	厚生保険特別会計 業務勘定より受入	6	2 3	1 7	259.5
	前年度剰余金受入	1	1	0	▲10.5
	そ の 他	4	1 3	9	316.7
	計	8 7 6	8 4 4	▲ 3 2	▲ 3.6
支 出	保 険 給 付 費	5 0 9	4 6 4	▲ 4 5	▲ 8.8
	老人保健拠出金	1 7 1	1 4 1	▲ 3 0	▲17.2
	退職者給付拠出金	2 9	3 0	1	2.0
	介 護 納 付 金	-	1 6	1 6	-
	業 務 取 扱 費	2 4	2 3	▲ 1	▲ 5.5
	諸 支 出 金	1 5 1	1 4 8	▲ 3	▲ 2.3
	福 祉 事 業 費	5 7	5 1	▲ 6	▲ 9.8
	そ の 他	1	2	1	120.6
計	9 4 2	8 7 5	▲ 6 7	▲ 7.1	
収支差引過▲不足額		▲ 6 6	▲ 3 1	3 5	—

(参 考)

平成12年度部門別収支決算

(1) 疾病部門

(単位：億円)

区 分		平成11年度決算 A	平成12年度決算 B	差 引 (B-A)	伸 率 (%)
収	保 險 料 収 入	507	482	▲ 25	▲ 5.0
	一般分	507	468	▲ 39	▲ 7.8
	介護分	-	14	14	-
	国 庫 補 助	33	30	▲ 3	▲ 6.6
	厚生保険特別会計 業務勘定より受入	6	23	17	259.5
計	546	535	▲ 11	▲ 2.1	
支	保 險 給 付 費	372	351	▲ 21	▲ 5.7
	医療給付費	292	275	▲ 17	▲ 6.1
	現金給付費	80	76	▲ 4	▲ 4.5
	老人保健拠出金	171	141	▲ 30	▲ 17.2
	退職者給付拠出金	29	30	1	2.0
	介護納付金	-	16	16	-
	福 祉 事 業 費	0	0	0	71.7
	計	572	538	▲ 34	▲ 6.0
収支差引過▲不足額		▲ 26	▲ 3	23	———

〔基 礎 計 数〕

被 保 險 者 数 (一般分)	91,982人	86,725人	▲ 5,257人	▲ 5.7	
(介護分)	-	62,445人	-	-	
平均標準報酬月額(一般分)	376,667円	375,504円	▲ 1,163円	▲ 0.3	
(介護分)	-	398,889円	-	-	
保 險 料 率 (一般分)	12.4%	12.4%	0%	-	
(介護分)	-	(12.4~) 3.0%	-	-	
		(13.1~) 15.9%			
被 保 險 者 一 人 当 たり	保 險 料 額 (一般分)	551,500円	539,496円	▲ 12,004円	▲ 2.2
	(介護分)	-	22,396円	-	-
	保 險 給 付 費	404,917円	404,843円	▲ 74円	▲ 0.0
	医 療 給 付 費	318,037円	316,841円	▲ 1,196円	▲ 0.4
現 金 給 付 費	86,880円	88,002円	1,122円	1.3	

(2) 失業部門

(単位：億円)

区 分		平成11年度決算 A	平成12年度決算 B	差 引 (B-A)	伸 率 (%)
収 入	保 險 料 収 入	69	64	▲ 5	▲ 6.7
	国 庫 負 担	18	15	▲ 3	▲ 16.7
	前年度剰余金受入	1	1	0	▲ 10.5
	計	88	80	▲ 8	▲ 8.8
支 出	保 險 給 付 費	101	75	▲ 26	▲ 25.1
	翌年度へ繰越	1	2	1	120.6
	計	102	77	▲ 25	▲ 23.4
収支差引過▲不足額		▲ 14	3	17	——

〔基礎計数〕

被 保 險 者 数	68,079人	64,662人	▲ 3,417人	▲ 5.0
平均標準報酬月額	404,410円	402,938円	▲ 1,472円	▲ 0.4
保 險 料 率	20%	20%	0%	——
被保険者一人当たり 保 險 料 額	101,500円	99,701円	▲ 1,799円	▲ 1.8
被保険者一人当たり 保 險 給 付 費	147,961円	116,676円	▲ 31,285円	▲ 21.1
被保険者1,000人 当たり失業保険金 受 給 者 数	47.97人	38.29人	▲ 9.68人	▲ 20.2

(3) 年金部門

(単位：億円)

区 分		平成11年度決算 A	平成12年度決算 B	差 引 (B-A)	伸 率 (%)
収 入	保 険 料 収 入	130	120	▲ 10	▲ 8.1
	国 庫 負 担	0	0	0	▲ 8.3
	利 子 収 入	39	31	▲ 8	▲ 19.9
	そ の 他	0	0	0	6.2
	計	169	151	▲ 18	▲ 10.8
支 出	保 険 給 付 費	36	38	2	5.5
	諸 支 出 金	151	148	▲ 3	▲ 2.3
	福 祉 事 業 費	0	0	0	0.0
	計	187	186	▲ 1	▲ 0.8
収支差引過▲不足額		▲ 18	▲ 35	▲ 17	—

〔基礎計数〕

被 保 険 者 数	83,019人	78,891人	▲ 4,128人	▲ 5.0
平均標準報酬月額	381,335円	379,933円	▲ 1,402円	▲ 0.4
保 険 料 率	36%	36%	0%	—
被保険者一人当たり 保 険 料 額	156,854円	151,708円	▲ 5,146円	▲ 3.3
被保険者一人当たり 保 険 給 付 費	223,717円	233,604円	9,887円	4.4

船員保険特別会計収支決算

(単位：億円)

	区 分	平成 8 年度	平成 9 年度	平成10年度	平成11年度	平成12年度
収 入	保 険 料 収 入	9 0 1	8 7 3	8 1 9	7 6 3	7 1 9
	一般会計より受入	6 4	6 3	6 1	6 3	5 7
	利 子 収 入	4 6	4 6	4 4	3 9	3 1
	厚生保険特別会計 業務勘定より受入	2 1	1 3	1 2	6	2 3
	前年度剰余金受入	3	3	2	1	1
	そ の 他	4	3	3	4	1 3
	計	1, 0 3 9	1, 0 0 1	9 4 1	8 7 6	8 4 4
支 出	保 険 給 付 費	5 7 3	5 4 6	5 3 9	5 0 9	4 6 4
	老人保健拠出金	1 5 3	1 4 9	1 4 8	1 7 1	1 4 1
	退職者給付拠出金	2 8	2 6	2 6	2 9	3 0
	介 護 納 付 金	—	—	—	—	1 6
	業 務 取 扱 費	2 6	2 6	2 5	2 4	2 3
	諸 支 出 金	1 5 7	1 5 4	1 5 1	1 5 1	1 4 8
	福 祉 事 業 費	6 8	6 5	6 3	5 7	5 1
	そ の 他	3	2	1	1	2
計	1, 0 0 8	9 6 8	9 5 3	9 4 2	8 7 5	
収支差引過▲不足額		3 1	3 3	▲ 1 2	▲ 6 6	▲ 3 1